



令和6年 3月1日  
平塚市  
青少年指導員  
連絡協議会

平塚市青少年指導員については  
二次元コードから



# 令和6年 平塚市はたちのつどい

平塚市はたちのつどい実行委員 × 平塚市青少年指導員

平塚市はたちのつどい実行委員長

あさの もとこ

浅野 素子

当日は円滑な運営のためのお力添えと、沢山の祝福をいただき、ありがとうございます。私は、ジュニアリーダーズクラブで出会った先輩の姿を追って実行委員長を志願しました。約半年間、学業や部活との両立は大変でしたが、実行委員会の仲間や青少年課さんのおかげで、達成感を持って完走することができました。テーマの設定から当日の企画まで私たちの意志やこだわりが詰まった式になり、実行委員一同「やってよかった」と口をそろえて言っています。私は今回の実行委員の活動を通して、平塚市がもっと好きになりました。企業様への依頼訪問や、恩師からのビデオレターを撮影するために市内を駆け巡りました。今まで知らなかった地域を知ることができただけではなく、企業の方、先生方は温かい方ばかりで町全体から祝福を受けている気持ちを実感しながら活動が出来ました。

これからも平塚市への愛着を持ち、社会に貢献できる大人になれるよう頑張りたいと思います。

以上

平塚市はたちのつどい副実行委員長

さとう りょうや

佐藤 諒弥

「成りたい人になる」をテーマに成人式成功に向けて準備を進めました。準備の中では、はたちという節目の重さを次第に感じるようになってきました。私は、防災を大学で学んでいます。

令和6年能登半島地震を目の当たりにして、「私には何が出来るだろうか?」と考えた時に、まだ、周囲の人の助けがなければ何も出来ない自分がいることに気づきました。「成りたい人になる」には、まだ未熟な私ですが、はたちの集いが多くの皆様のご支援とご協力で成功できたように、周囲の方々から多くの学びを得ながら成長し、成りたい人になりたいと思います。

以上

平塚市はたちのつどい副実行委員長

ひらの ゆうた

平野 雄太

二十歳という節目を祝う式に実行委員会の副委員長という大変名誉な役割を担えたことは、私の人生の中でもとても重要な思い出になりました。初めは、実行委員なんて務まるのか、知らない人たちとちゃんと協力できるのかと不安に思っていました。活動が進むにつれて緊張がほぐれていきました。皆多忙な中、それぞれが自分のできることに取り組み、助け合いながら準備を進めていきました。そして、実行委員会一丸となって式を成功させたことで仲間とのより強い絆を感じる事ができました。実行委員に参加していなければ出会うことのなかった他校の仲間、彼らと紡いだ時間は、かけがえのない思い出になったと思います。

また、このような大きな式でステージに立つというのはとても緊張するものでありますが、彼らと作り上げたこの式に絶対的な自信を持っており、式当日は緊張よりも期待が大きかったことを覚えています。そして、参加者の笑顔や感動を目にし、その喜びを仲間と共有できたことは何よりも価値のある経験でした。



た。

私は、二十歳の集い実行委員会副実行委員長として自分の役目を全できたこと、そして仲間と共に式へ臨めたことを誇らしく思います。

以上

平塚市はたちのつどい実行委員

あいはら みゆう

相原 未悠

今年のテーマは「成りたい人になる」でした。はたちのつどい実行委員長の浅野が開式の言葉でも述べましたが、このテーマは一人ひとりが成人の意識を持つということ、二十歳という節目を迎えそれぞれ、夢や希望に向かって踏み出すきっかけの日になってほしいと願いを込めて掲げました。

ご来場くださった成人の皆様にとつてはたちのつどいが、そのようなスタートの一日になることできていたら実行委員一同嬉しく思います。

個性豊かすぎる9人のメンバーに支えられ、沢山の会議やビデオレター作成、抽選会の協賛依頼等やり遂げられたことは私にとつても貴重な経験になり、「成りたい人になる」の一步になったと思います。

最後になりましたが、令和6年平塚市はたちのつどいを開催するにあたり、青少年指導員の皆様をはじめ、各関係者の皆様、本当に多くの方々にお力添えをいただき、このよう盛大な式典ができましたことを深く感謝申し上げます。

以上

平塚市はたちのつどい実行委員

いいじま しょうた

飯島 翔太

私はこの「令和6年平塚市はたちのつどい」を通して自分自身の成長を実感したとともに、さらに成長することができました。10回の実行委員会を通して、大学で培ってきたコミュニケーション能力や柔軟な思考力、専攻しているデザインの技術を遺憾なく発揮できたと思います。当日も壇上に立ち、千人以上の人がいる前で臆することなく話すことができたのは、大学の授業内で何度も何度も発表する機会があったからです。

中学校の先生や協賛企業に直接会いに伺う、なんていうのはとても貴重でありがたいことをさせてもらったと感じています。千人以上の人がいる前で話せたのは自分の実力と自負していますが、そんな機会

をいただけたのもありがたい経験をさせていただいたと感じています。この経験をすべて自分の物にしてこれからの人生を生きたいと思えます。

あらためて青少年課の皆様、ならびに関わっていただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。

以上

平塚市はたちのつどい実行委員

いしげ ゆうき

石毛 友規

二十年間寄り添ってきた友人たちの門出を、華やかかつ、人生の一部として強く印象に残るような催しにしたい。そんな思いで、実行委員をやらせていただきました。

毎回の会議で青少年課の方と話ししたり、ビデオレターの撮影で懐かしい恩師と再開したり、協賛企業への訪問などを通じ、日常では経験できないようなたくさんさんの「大人」と関わる事が出来ました。社会への一步を踏み出すうえで、大変貴重な体験をさせていただけたと思っております。

友人たちにとつて印象深い式をつくりたいという思いで始まった実行委員としての活動は、いつの間にか自分にとつても唯一無二の経験になりました。あの日、舞台裏、

壇上から見た景色は、一生忘れないでしょう。二十年生まれ育った平塚市に恩返しができるよう、この一年間で培ったことのすべて糧に精進してまいります。

最後になりましたが、最後まで実行委員を支えてくださった、市役所青少年課の職員の皆様をはじめとする、平塚市の職員の方々や、私たちの理想を、私たちの想像を上回る形で表現してくださったクラフトワークの皆様には、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

以上

平塚市はたちのつどい実行委員

いなげ ひびき

稲毛 響

私はアルバイトの2つ掛け持ちをしているのですが、そのどちらにもはたちのつどい実行委員会を経験したことのある先輩がおられて、これは運命だと思いい今年の実行委員会に参加しました。実行委員会の活動ではいろいろな中学校に訪問しビデオレターの撮影をしたり、共産の企業様と実際に自分でコンタクトを取ったり、はたちのつどい舞台袖から見たり、はたちのつどい当日に実行委員会専用の控室が用

意されるなど貴重な経験をたくさんすることができました。せっかくなので作ったフォトスポットがほとんどふれられないなどいくつかの失敗もありましたが、それ以上に素敵な経験と実行委員の仲間と出会えたことはとても期待値があったと思います。

この実行委員での活動を通して様々なことを学び手に入れることができました。

はたちのつどいを支えてくださった皆様のおかげで式典も無事終えることができました。お力添えいただきありがとうございます。

以上

### 平塚市はたちのつどい実行委員

おおむろ こたろう

## 大室 虎太郎

私は人生に1回の20歳の集いの思い出に残るものになりたいと思い、自己委員会に参加いたしました。

はじめましての人と、こんな大きな企画を作り上げられるか不安がありました。しかし、中学からの友人や、平塚市ジュニアリーダーズクラブの友人も実行委員に立候補していました。初めてそこで顔を合わせた実行委員もいましたが、みんな個性あるキャラクターばかりで、ワ

クワクが止まりませんでした。

今回ののはたちのつどいでもっとも嬉しかったのは、恩師からのビデオレターです。先生方に会いにくいと、皆さん優しくして私たちの代に思い出と愛があることをひしひしと感じました。それを20歳の集いに参加してくれたみんなが、声をあげて喜んでくれるあの瞬間、やっと成し遂げられたんだとうれしく思いました。

私たちが小さい頃から見守り続けてくれた青少年指導員の皆様をはじめ各種関係者の皆様、改めてお礼を申し上げます。多大なるご尽力、本当にありがとうございます。楽しかったです！

以上

### 平塚市はたちのつどい実行委員

かくた やまと

## 角田 大和

20歳になると考えた時に平塚市ではたちになる多くの人の思い出に残る1日を実行委員となって創りたいと思ったことが立候補した理由です。

6月に最初の会議が行われ、1人で青少年会館の部屋に入った時、個性豊かなメンバーが集まってい

て当日に向けて話し合うのがとても楽しみに感じたのを覚えていいます。パンフレットのデザインやどんなアトラクションにするかなど沢山話し合い、9人が納得のいくものを創り上げることができたと思います。

私は皆さんが当日までワクワクした気持ちを高められるように、SNSでの情報発信をメインに活動していました。SNSを見てくださった沢山の人がいいねや情報を拡散していただけた時はとても嬉しかったです。

今回、実行委員として式典に携わることができて、自分自身の成長や新たな人との繋がりをつくれたことや当日に多くの笑顔を見れたことにとっても感謝しています。

これまで関わってくださった皆さん、本当にありがとうございます。

## はたちのつどい結果

日時：令和6年1月8日(月・祝)

### 第一部

12時00分～12時50分

### 第二部

14時50分～15時40分

会場：ひらしん平塚文化芸術ホール

### 内容：式典

開式のことば

平塚市長あいさつ

御来賓祝辞

恩師からのビデオレター

閉式のことば

結果：《対象者数》2,641人

《参加者数》1,861人

《参加率》70.47%

初となるひらしん平塚文化芸術ホールでの開催となりましたが、今年も26名の青少年指導員の方に《受付》《総合案内》《誘導・巡回》《警備》のグループに分かれ、はたちのつどいへの御協力をいただき、ありがとうございます。

《事務局》



# 広報委員のしごと

二十歳を迎えられた皆さんおめでとうございます。

皆さんは、自分の人生をどう考えていますか？なりたいたいもの、なりたかったものに辿り着きましたか夢はどんなに遠回りしても強い意志があれば必ず叶う。夢は自分で切り開くもの。私は、昔の自分に強く叫びたい。これを読んでいるあなたなら、まだ間に合うだろう。

神田地区 土屋裕之  
以上

## 【広報委員会】

委員長	松が丘地区	荻原 智隆
委員	花水地区	高橋 幸宏
〃	豊田地区	伊東 多恵子
〃	神田地区	土屋 裕之
〃	城島地区	南雲 真理子
〃	金田地区	村形 伸一
〃	真土地区	石井 康仁
〃	空し地区	田邊 貴也
〃	松延地区	伊川 眞理
事務局	青少年課	高島 正和
〃	宇田川	純平

